

會議錄

会議名	第1回 和光市特別職報酬等審議会	
開催日時	令和7年9月24日(水) 午前10時00分～12時00分	
開催場所	健康増進センター 多目的室	
出席委員	<p>◎星野 裕司 ○富澤 隆司 石田 秀樹・安多 信喜・松村 秀樹・箕輪 純子・ 清水 孝悦・柳田 司 ◎会長 ○会長職務代理</p>	
※敬称略		
欠席委員	川曲 幸生	
内容(議題等)	<p>委嘱式 諮詢書の提出 審議事項</p> <ul style="list-style-type: none">・市議会議員の議員報酬の額について・市長、副市長及び教育長の給料の月額について・特別職の期末手当の改定について <p>以上の事項をまとめて意見交換</p>	
傍聴者	なし	

発言者	議事
事務局	— 資料説明 —
会長	事務局からの説明に対し、質問等がありましたらお願ひします。
柳田委員	和光市と志木市を比較すると、資料4の市長等の給料については志木市のほうが和光市よりも高く、資料5の議員報酬額については志木市のほうが和光市よりも低くなっています。これはどのような意味があつてのことでしょうか。
事務局	まず、各市においても報酬審議会において定めているところです。そして志木市の議員報酬については、月額報酬額で見ると志木市のがほうが低く、期末手当の割合では志木市のほうが高くなっているため、年間支給額の総額では議員報酬額も志木市のほうが高くなっているという実情があります。

柳田委員	今回の審議資料では、政務活動費は反映されていないのでしょうか。
事務局	ご推察のとおりです。反映されておりません。 なお、政務活動費を含めても志木市のほうが高額となります。
柳田委員	年額支給額ではなく、月額報酬においても和光市が高くて良いのではないかと思うのですが、どのような理由で和光市が低くなっているのでしょうか。
事務局	議員報酬額は特別職報酬等審議会の審議の結果により決定されるものです。資料6をご覧いただくと、これまで不定期に審議が重ねられてきていることが分かりますが、平成10年からこれまでの報酬額は月額2万円しか変わっていないことが分かります。つまり、当市においては審議の結果、報酬額を見送ってきたということになります。
安多委員	資料9では、特別職の期末手当の支給率を一般職の期末・勤勉手当の支給率と同率に改定した場合の増加額が例として示されていますが、先日の人事院勧告等により、今後の一般職の職員はどの程度の上昇率を見込んでいるのでしょうか。
事務局	人事院勧告で示されている国家公務員の一般職の期末・手当の割合については今後0.05月の上昇が見込まれており、現在の4.6月から4.65月となる予定となっています。また、月給は平均3.62%、約15,000円程度の改定が見込まれております。
会長	国家公務員の給与改定なので、すべての地方自治体がその改定率に倣うということではなく、各自治体の財政力等によって定めるということですね。ありがとうございました。 それでは、市長等の給料と議員報酬の改定について議論していくみたいので、各委員の率直な意見をいただきたいと思います。石田委員から一人ずつ順番にお願いします。
石田委員	資料を見る限り、物価高騰等もあるため、下げるということではなく、上げていくのが良いと思います。今までの審議により現在の

	額になっているのだと思いますが、月額が最も低い議員から少しずつ見直していくことになるのではないかと。前回は特別職の給料があまり上がっていないうやうなので、その辺りも参考にしながら議論を進めていくとよいと思います。
会長	ありがとうございます。確かに、特別職の給料は何年もこの審議会において上がっていないうこともありますし、そのあたりも皆様の意見をお伺いしたいと思います。では、安多委員お願いします。
安多委員	人事院勧告が上昇傾向であるということは言えると思います。また、近隣4市との均衡も必要であると思います。そして、資料4と資料5では人口規模により並べていただいていますが、まず、市長は責任の範囲が人口規模に対し1人になるため、それに応じた給料になるというはある程度理解ができるのですが、議員においては人口規模等にもよってある程度議員定数が決まっているため、議員1人の責任範囲は人口規模により大きく変わることではないと思います。資料5では人口規模に応じて議員報酬の額が大きくなる傾向が見てとれます、その点は見直すとよいと思います。
会長	つまり人口規模により議員報酬を決めるべきではなく、人口規模が小さくとも議員としての職務はあまり変わらないものとして、ある程度の議員の報酬額は必要であるということですね。
安多委員	そうですね。
会長	朝霞、志木、新座、和光4市というのは物価傾向や立地等からよく比較されるところですね。消防等では4市合同で、一部事務組合というものがあり、給料表では同じものを利用しているといった点からも、比較する上で納得しやすいものではないかと思います。それでは次に、松村委員お願いします。
松村委員	私は仕事柄、普段から企業の財政状況をよく見る機会があります。そのとき、やはり会社の規模、売上高、利益面を考慮して、社長さんや従業員さんの給料を経営者の方と話し合いながら決めてい

	<p>ので、その考え方を持ちながら資料を拝見させていただいたんですが、やはり営利を目的をしている企業ではなく公務に就かれている方の給料となりますので、こうした資料を見ながら決めていくということは非常に大事なことだと思います。</p> <p>今回の資料を拝見すると、和光市は県内の財政力指数が2位であることで、もちろん人口の話もありますが、こうした財政力指数や近年の世の中の状況等を見て、物価も上がっていることもありますし、やはり上げる方向で考えるべきではないかと率直に思いました。資料6で過去の経緯を拝見して、ぱっと見ても上がっていないんだなというのが率直な意見で、和光市の財政力指数が高いのは、役職の方の努力等もあると思いますので、ここは上がる方向で考えていくべきではないかと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>和光市は財政力指数が高いということで、交付税不交付団体でありますよね。埼玉県内に他の不交付団体はありますか。</p>
事務局	<p>現在、和光市、戸田市、八潮市、三芳町だと思われますが、何年か前に和光市も一時期、交付団体になったことがあります。</p>
会長	<p>税収としてはなにが高いのでしょうか。</p>
事務局	<p>個人住民税が非常に多いです。</p> <p>和光市は財政力が高いとされていますが、不交付団体としてギリギリ行政運営しているため、寧ろ交付団体と比較して実際は非常に厳しい状況であるとも言えます。</p>
清水委員	<p>財政力がギリギリまで下がって、交付金をもらえたほうが実際は余裕があるということでしょうか。</p>
事務局	<p>補助金等も削減されるため、ご推察のとおりです。</p>
富澤職務代理	<p>予算の中の人物費は経常経費に含まれているのですか。</p>
事務局	<p>含まれます。</p>

富澤職務代理	削減策の中で人件費を削減しようという方向性はあるのですか。
事務局	人件費より扶助費の方が予算を占める割合が多いですし、職員の給与を削減すると職員のモチベーションが下がることに繋がることもあるため、難しいとも感じます。
会長	財政力指数については、市で努力をされているということですね。具体的に高いのは市民税ですか、何億くらいありますか。
事務局	令和6年度決算では市税が約170億で、約46%が市民税です。
会長	次に高いのが固定資産税ですよね。
事務局	そうです。
会長	和光市は開発されてマンションも増えていますし、日本郵便配送センターのような大きなビルが建つと、固定資産税はかなり税収として上がると聞きます。ありがとうございました。それでは次に、箕輪委員お願いします。
箕輪委員	<p>3年前にもこの会議に参加させていただき、その際にお話しさせていただいたのは、北口の工事があまり進んでいないことです。バスの自動運転についての検討後、私自身が住む地区の前では区画整理が止まっています。そして以前、市からこのままの状態でもよいと思うか、早く区画整理をしたほうがよいと思うかのアンケートがありました。それにより、区画整理をしないという検討もされているのかと思い、市の財政状況に不安を感じました。そのため、今回の審議会の諮問があったときは、また給料を上げる話なのか、と思いました。</p> <p>しかし、今回の資料を拝見すると、和光市が凄く少なく、上げる必要があると思いました。一方で、今の事務局からの説明を受けて、やはり財政状況についても不安も感じているというのが私の気持ちです。</p>
事務局	そうした都市計画は、北口の特別会計で優先順位を決めて、区画整理をしているところです。区画整理が進むと資産価値が上がり、

	固定資産税という形で戻ってくる形となるため、現在は徐々にその部分が進んでいる形となります。
会長	要するに、現在審議している特別職の給料等を上げたとしても、区画整理事業には響かないという理解で良いでしょうか。行政のプロジェクト執行は会計がそもそも別であるため、区画整理についても検討中なのかもしれません。自分としてもなかなか区画整理が進んでおらず、言いたいことは沢山あるのは事実なのですが、今日の審議会は別物なので、行政の職員には頑張っていただきたいと思っています。箕輪さんよろしいですか。
箕輪委員	はい。
会長	ありがとうございます。では、清水委員お願いします。
清水委員	<p>一般的には和光市は財政が赤字であるため、例えば、わこバスはもっとこちらに回ったほうが良いとなると運転手が辞めてしまうという話があり、補助金等を出せばもっといろいろなところを回れるのだろうといったような話も聞いています。また、あちこちの学校ではもう創立50年以上が経っていますよね。先日も小学校で縞帳が古いで変えて欲しいという話を聞きました。縞帳の交換は50万以上かかるので、複数校もあるとすぐには変えられないというような話があって、そうした話を聞いていると、予算の使うところのバランスが悪いのかなと感じています。先ほどの再開発の話もかなり遅れていますよね。今の市長さんが次に受かるかは別問題として、なかなか進まず終わらないのではないかと思っています。</p> <p>しかし、今回の資料で比較すると、埼玉県内で比較して和光市の給料等が低いとは感じています。民間の商社とは違っていても、給料等が何年も上がっていないのは上げるべきだとは思います。市は営利企業ではないので、儲けを蓄えなくてはならないということではないと思いますが、やはり何を判断するかとなると市民の満足度が重要だと思います。今回の資料を見ると給料等を上げるの自体には賛成ですが、満足度を上げるために、収支のバランスが悪いところは重要であると感じます。</p>

会長	<p>確かに予算の配分の仕方というのは、行政の職員が案を作って議会に諮り、その了解を得て行っているわけですが、その順位付け等については行政の職員ももっと研究をしながら、今おっしゃつたようにその満足度を上げていくことも本当に大事だと思います。私も一市民として外から見ていると、行政の職員さんは大変だと思います。</p> <p>ありがとうございます。それでは柳田委員お願いします。</p>
柳田委員	<p>最近は実質賃金が全く追いついていません。市民の生活状況もある中で、これまで和光市は厳しい財政状況があって給料等が抑えられてきたのだという印象を受けています。そのため、一般的な国の流れなどを受けて、特別職等の給料等と議員報酬を上げるべき状況なのではないかと感じます。</p> <p>資料7で先ほど志木市と比較しましたが、特別職も議員も志木市のほうが高くなっているとのことでした。志木市は期末手当によって年額支給額が和光市より高いということで、議員の働きが良いか悪いか、それに見合った報酬であるべきであるとは思うのですが、それでもやはり低いかなと感じています。</p>
会長	<p>柳田委員からのお話がありましたとおり、議員報酬の期末手当というのは、いわゆるボーナスですが、資料5を見ると、4. 6の自治体も多い中で、逆に、和光市の3. 3のほうが珍しいですね。</p>
柳田委員	<p>私もあり明るくはないのですが、一般職員は人事院勧告により一律に決定すると思うんですが、それに準じて特別職や議員は連動しないんですよ。それが、これほど違うものなのですね。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおり、現状の制度では連動しないため、今回の審議会で審議をお願いしている状況です。4. 6という数字は、昨年度までの一般職の期末・勤勉手当として人事院勧告により示された数字なので、他の自治体では連動しているところもあるのかもしれません。朝霞地区は志木を除き低めになっています。</p>
会長	<p>特別職の給料等や議員報酬については、他の自治体においても審議会による審議事項なのですか。</p>

事務局	多くの自治体では審議会を行っていると認識しています。なお、今回の議事において諮問と依頼とに分かれているのは、諮問とある事項が条例に基づく審議事項で、依頼とあるものは条例で審議事項とされていないものです。
富澤職務代理会長	市議会議員は非常勤ですよね。そのため、期末手当そのものがそぐわないという話も聞くのですが。その辺りはどうなのでしょうか。
会長	そういう話は聞いたことがありますよね。市長、副市長、教育長は一般職と同じように朝から夕方までいて、議員は定例市議会やその他議会等、資料3のように様々な活動をしているようです。常勤ではなく報酬ということですので、議員以外の仕事を持っていても構わないということですね。現在、和光市で兼業されている方はどれくらいいるんでしょうか。
事務局	17名中5名と認識しております。 不動産業等もありますし、和光市では以前から農業等と兼業を行っている方が多い傾向があるよう思います。
富澤職務代理	過去に議会から自分たちの報酬についての意見や、報酬を上げて欲しいといった希望はありますか。
事務局	3年前に報酬審議会の開催要望があり、当時の報酬審議会で議事に上がりました。
石田委員	議員はこの安価な報酬で頑張っていると思います。逆に自慢できると感じています。
事務局	国民年金等、保険にかかる費用が高くなっているので、手取りとしては厳しいと感じているという話は聞いています。
石田委員	私も2年までは農業委員会の会長して議場に参加していたのですが、当時の議員との交流の中で、やはり必要経費も多いのでとても厳しいと言っていた記憶があります。市の財政もあるため上げ

	ればいいというわけではありませんが、他市と比較しても、やはり安いと感じます。
柳田委員	東京都の職員だったのですが、東京都の議員はとても高額だったと記憶しています。期末手当も普通の職員と同じくらいだったかと思います。また、政務活動費も50万ほど出ていたように思うので、和光市はとても低く感じます。もちろん、財政規模が異なるため同等とはならないと思いますが、それについて意外に感じました。
会長	<p>東京都と隣接しており、物価上昇率も高いこともあります。報酬であり、給料ではありませんので、生活給としてみなすのはどうかという意見もありますが、ただ、事実上、議員活動に支障をきたすようなことがあってはいけないと思いますので、和光市の議員として見合った金額を決定できればと思っています。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>これまで出た意見では、全員が金額を上げるべきだという意見が主だったと思います。他に意見はありますか。また、2回目までに事務局が用意すべき資料があれば申し出てください。</p>
富澤職務代理	施行日は令和8年4月1日施行でしょうか。
事務局	その予定でおります。
富澤職務代理	職員の最も高い給料と特別職との給料均衡はどのようになっていますか。
事務局	現状、職員の最も高い給料となる部長が常勤の特別職を抜くことはありません。金額が近くなれば意識して動向を見守りますが、現状はそれもありません。
会長	現在、副市長の定数は1名ですか。
事務局	議員提案により条例上は2名で、現在は不在です。
会長	現在は副市長不在で支出されていませんので、市長は一人で頑張

	<p>ている状況だと思います。しばらく副市長は欠員ですが、新たな副市長に給料を支給する必要があるときに備えて、副市長の給料も今回決定する必要がありますね。</p> <p>ほかにありますか。清水委員どうぞ。</p>
清水委員	<p>さいたま市では議員定数が 60 人ほどなので、およそ議員 1 人に対し 2 万人ほどの市民を担当しているのに対し、和光市は議員 1 人に対し 4 千人ほど市民を担当していることを思うと、人口規模や土地の面積が異なるため、他市と単純に報酬等を比較するというはどうかという気もします。他市が高くて和光市が安いということや、何年も上がっていなければ上昇するんだという論点は少し違っているように思います。</p>
会長	<p>私もその点についてはそう思います。ですから、これまでそれなりの理由があって給料等を上げなかつたのだと思いますが、最近の物価上昇に伴い生活費として厳しくなっているということもよく分かると思うんです。実際、消費者指数はどれだけ増えていますか。</p>
事務局	<p>総務省の資料になりますが、2020 年を 100 とした場合、令和 7 年 7 月では 11.9%、1 割強上昇しているということになります。</p>
会長	<p>給料に 11.9% を掛けたらとんでもない数字になりますから、そのままの額にするべきとは思いませんが、物価上昇も加味して、清水委員のおっしゃるとおり何年も上げてなかつたから上げるということだけではなく、こうした消費者物価指数等も勘案すべきだと常々思っていました。</p>
富澤職務代理	<p>令和 5 年に報酬審議会で答申を出しましたよね。それからの 2 年間で変動があったということだと思いますが、例えば極端に物価が上がったですか、何年後に見直しをするですか、今回審議会に諮ることにした一番の理由はなんですか。</p>
事務局	<p>やはり物価上昇がある中で、これまで給料等が上がっていないとすることもあり、社会情勢的に見方が代わってきているという一</p>

	つの要因も判断していただき、この会議で議論していただきたいと考えております。
富澤職務代理	本日の議論で上げるのはやぶさかではないと思うが、どれだけの額を上げるのかについての整理がつかないところです。
事務局	議員になりたいと思える報酬となっているかという観点も重要なと思われます。年齢構成から見ると、若い議員が政治に参加したいと思える額には少し届いていないのだと思います。
柳田委員	現在、議員に退職金はないですか。
事務局	ありません。中には議員を辞めて、転職する方もいらっしゃいます。
柳田委員	昔は議員が特別に積み立てて、議員年金があったと思います。今はその制度はなくなったのですか。
事務局	現在は制度がありません。過去に積み立てていた方には出ていると思います。
会長	議員ならサラリーマンと違って市のために尽くす熱い心があるって然るべきじゃないかと我々はそう思いたいですが、ただ、その制度の中で議員活動もしていらっしゃるので、ある程度の報酬を受けながら一生懸命活動していただくというのも、我々一般市民目線からして妥当なのかなと私は思います。 若い議員が少なくなっているのは、懸念事項でもあると思います。もちろん、高齢の議員がいけないと言っているのではなく、若い世代の議員による考え方を導入することも必要なのではないかと思います。どうですか、皆さん。
石田委員	しっかりやっている議員さんはしっかり報酬をもらえるようにする必要があると思います。全議員がしっかり頑張っているのか疑念もありますが、お話する議員は皆さんしっかり頑張っていると思うので、もう少し報酬が上がっても良いと思います。上げることに反対しません。

会 長	箕輪委員さんいかがですか。
箕 輪 委 員	バランスも重要ですが、私も上げていいと思っています。
会 長	ありがとうございます。安多委員はどうですか。
安 多 委 員	<p>先ほどの清水委員は私の意見に対するものもあると思うのですが、私も人口規模に基づいて決めるべきではなく、あくまでも指標の一つとしてはどうかという意見として申し上げたことを補足させていただきます。</p> <p>また、本来、物価上昇等の社会情勢は大きく変わってくると思うのですが、それに加えて、例えば不動産の額なども考えると、和光市は埼玉県の中でも隣接する東京都の影響を大きく受けていると思います。議員は和光市に住んでいると思うので、こうした基礎資質のようなものは検討材料にしても良いと思いました。</p> <p>そしてもう一つ、期末手当を上げ下げする点については、清水委員のおっしゃっていた市民満足度で測るべきという意見には私も賛成でして、特別職も議員も市民のために業務を行っているのでしょうから、どれだけ市民が満足しているのかを参考にしながら決めていけたら良いのではないかと思いました。</p> <p>市の満足度調査のようなものがありますか。</p>
事 務 局	市民意識調査等で和光市にずっと住み続けたいかといったものがあったと思われますので、調べてみます。
安 多 委 員	6月の広報わこうにある資料でしょうか。それを先ほど私も見ていましたが、住みやすいが36%、どちらかといえば住みやすいが48%で、合わせると84%が肯定的ということなので、比較的マーケットは満足されていると思う。今回のアンケートの年齢構成は、大体18から70までまんべんなく入っているようです。
清 水 委 員	和光市は介護認定が凄く厳しいので、自分の知る60から80歳くらいの人から介護についての話を聞くことがあります。年齢層によって満足度が変わることはあるかもしれません。 報酬を上げてもいいですが、その代わり議員定数は半分にします。

	又は3分の1にする。くなつたら議員はそれでも報酬を上げていいというのかといったような観点もあると思います。いずれにせよ、見る側によって違うのだと思います。
会長	<p>貴重な意見をありがとうございます。調査の結果を活用することも大切ですし、市はそれ以外の少数派の意見もくみ取っていくのが本来の行政の姿だと思っています。</p> <p>この審議では議員定数のことは審議事項となりませんので、この場では現在、特別職の給料等と議員報酬を上げる方向の意見が大多数でしたので、次回審議会のとき、事務局から提示される資料を元に金額等を決定していきたいと思います。</p>
柳田委員	資料9が金額のご提案ということでしょうか。具体的に、額や割合を決めるということですね。
事務局	<p>はい、具体的に決めていただきたいです。</p> <p>資料9は参考となります。例を示して試算をしているため、もし委員から試算されたい希望の額があればご教示くだされば準備いたします。</p>
富澤職務代理	現行市議会議員の期末手当は3. 3月となっていますが、前回の報酬審議会ではどのように決めたのでしょうか。
石田委員	資料9を見ると、3. 3月から4. 6月というのはかなり割合が高くなっているように見えるため、急にここまで上げるのかという違和感があります。感覚的なものではありますが、4. 0月からとか段階的に上げるほうが良いように思います。
事務局	今回の資料は、一般職の期末・勤勉手当の支給率をモデルとして試算したものです。
富澤職務代理	違う数字にすると、かえってなぜそのようにしたのかという理由付けもまた難しいですね。基本的には人事院勧告は毎年出ているわけですよね、その都度見直すのかという話になってしまいます。
会長	3. 3月からいきなり4. 6月は急激すぎるところもあるので、

	もう少し段階的な数字を示す資料を事務局は作成していただけますか。
事務局	わかりました。なお、経過措置的に、段階的に上げることも可能です。
箕輪委員	3年前に参加した雰囲気ですと、やはり上げたくないという感覚でした。議員から報酬を見直してほしいという要望があるとのことだったので、議員は1万円報酬を上げて、特別職は給料を5千円でいい分ボーナスを少し高めにしようというような雰囲気だったかと私は認識しています。
安多委員	私も3年前に参加していましたが、そのような記憶があります。当時一番判断基準として利用したのは、人事院勧告だったかなと思います。
会長	委員の意見などを踏まえ、事務局は次回までの資料として、細かく段階的に具体的な金額をシミュレーションしたもの用意してください。
安多委員	もう一つ、3年前に決定した額と、その当時の人事院勧告に沿って計算した場合にどうなるかという比較等について分かる資料をいただければと思います。
事務局	承知しました。
会長	多くのご意見をありがとうございます。それでは今回の審議会はこれで終了したいと思います。最後に富澤職務代理、挨拶をお願いします。
富澤職務代理	本日は熱心に議論いただきありがとうございました。 以上をもちまして第1回和光市特別職報酬等審議会を終了いたします。お疲れ様でした。ありがとうございました。